

【E】分類に関する意見、感想等。（自由記入）

(分類の意義)	独自のテーマ別配架を採用しているが、資料検索、レファレンス、資料管理において分類記号も有効に機能している。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	配架や検索には欠かせず、たいへん重宝している。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	分類表があることで、資料の組織化に役立つ。共通の分類法があることで、相互協力がしやすい。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用、同回答5館）
	利用者になじみはなくても、必要不可欠。学校図書館で案内をしているので、NDC以外の分類を使う予定はない。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	分類を使うことで、特定の分野を調べたい利用者に類書を一緒に見てもらえることができる。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用、同回答6館）
	膨大な資料を主題ごとに整理するためには、分類は欠かせない。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	十進分類法は非常に役立っている。見直しは大変な作業だと思うが、これからも図書館の柱となるよう整備されることを期待している。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	図書の種類は、全ての図書館において、国内外から収集する蔵書を効率的に管理し利用するために必要不可欠なもの。利用者へ円滑なサービスが提供できるように、書架の整理・整頓等の日々の営繕管理は勿論、図書館の蔵書構成や管理運営は、図書館員の使命と捉えている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
(分類作業)	複数の分類が該当する資料の分類付与に苦戦する（特に3類）。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	担当者により付与する分類が異なることがあり、市内図書館で統一を図るのが難しい。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	TRC MARCとJAPAN/MARCとの乖離が多々あるので、その時は出版社によるCコードも参考にしている。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	配架の際どこまで細分化したら利用者にわかりやすいのか悩む。細分化によりピンポイントで探しやすくなる反面、煩雑になるようにも思う。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	なぜこの分類になったか納得できないものもある。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	委託先業者の付与した分類が適切か迷う場合、自館で独自に分類を付与することがある。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	自館で分類する際には、NDLをはじめ他館の分類を参考にしている。（公共図書館：町村立、NDC新訂9版使用）
	認知症に関する本の分類に悩む。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	TRC MARCや、国立国会図書館の分類を今後も参考にしたい。他館の分類のしかたも参考にしたい。（公共図書館：町村立、NDC複数版使用）
	コンピュータ、情報分野の分類に迷うことがある。この分野の事例の情報がほしい。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	007（情報科学）、547（通信工学）、548（情報工学）の使い分けが難しい。（大学図書館：公立、NDC新訂9版使用）
	蔵書の方向性を的確にとらえる上では、分類作業を外部データのコピーのような単純作業にはできない。科学技術分野は情報が日々更新され、十進分類法とのすり合わせが難しい。新しい表現や用語の書籍も増え、分類をどうするか考えることが多くなった。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	作業療法（494.78?）、理学療法（492.5）の利用が多く、決まった分類があるとよい。491の下の生理学、運動器官と780.19の下の運動生理学はまとめた方がいいのか悩む。キャリア系は学生が本を探せないため、就職関連書は伝記や資格試験までまとめて366.29としている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	目録整理担当者として、分類作業は、その資料の主題分析がきちんとできているかなので、とても大切な作業と考えている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	CAT2020から書誌が乱立しており、分類についても利用しづらくなっていると感じている。（大学図書館：私立、NDC新訂10版（和書）、新訂9版（洋書）使用）
	複数の主題の図書に、配架のためにどれか1つの分類を選ぶのが困難。（大学図書館：私立、NDC新訂9版使用）
	分類のマニュアルは存在するが、受入担当者の個人的な感覚の違いで分類が不規則になっていることを感じることもある。書棚で隣接すべき図書が離れてしまうことがある。（大学図書館：私立、NDC複数版使用）
	自館で分類を付与する際はNDC10版を使用、または国会図書館や県立図書館の分類を参考にする。（短期大学図書館、NDC新訂10版使用）

(分類担当者)	分類の利用には専門知識が必要で、利用者にとっては件名の方が有効だが、件名を理解している図書館員は少ない。MARCが利用されるようになり、資料組織について苦手な図書館員が増えているように感じる。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)
	分類が理解できる専任職員が必要。(大学図書館：私立、NDC新訂10版使用、同回答2館)
	中央館とは異なる分類表を適用しているほか、特殊言語(ロシア語)の資料比率が高く、人材育成が課題。(大学図書館：国立、独自分類使用)
	独自分類表が新主題に対応できていない。専門書や外国語資料の比率が高く、大学院生や教員に分類の助言を仰いでいる。職員の異動が多く、分類の知識の維持継承が困難。(大学図書館：国立、独自分類使用)
(利用者にとっての分類)	分類法は一般に浸透しているルールではなく、動物と畜産、植物と園芸など、探しにくくなるものがあるのが難点。利用者の声や書店の配置なども参考にしながら、利用者にとって使いやすい図書館作りを進めていきたい。(公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用)
	利用者が分類を用いて検索することはほとんどなく、図書館員の配架のルールのようになっている。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)
	検索での利用は、キーワード入力が簡単のため、利用が減ってきたと感じる。配架については、同テーマの本が集まり、レファレンスなどに有用だが、利用者に対しては、掲示の工夫など検討することが多い。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)
	分類は世間一般の認識と乖離している部分があるように思うが、世間の認識に合わせてしまうと主題ごとに分類できないジレンマもある。(公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用)
	利用者が分類や件名(テーマ)で検索することは難しい。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)
	市内の小学4年生を対象にした図書館教育の際、図書館の職員が分類について説明をしている。(公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用)
	図書館見学や職場体験で分類について説明している。(公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用)
	一般的には分類に対する認識が低いように思う。認識が備われば目的の本や、その周辺の本との出会いの可能性がより高くなるのではないかと思う。(公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用)
	司書としてはNDCはなくてはならないものだが、利用者はどこまで活用しているかわからない。もっと利用者にNDCの利用を案内する必要があると感じる。(公共図書館：市区立、NDC新訂9版使用)
	分類から資料を探す意味が利用者に浸透していないように思うため、効果的な広報を考えたい。(公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用)
	館内に掲示している分類表は大まかな内容で、詳しい内容の分類表を掲示する、利用案内に配架図と併せて印刷する等、利用者によりわかりやすい表示をしていきたい。(公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用)
	利用者にとって分類はあまりなじみがないと思われるため、すべて分類通りの配架とせず、一部混架を行い、利用者目線の配架を心掛けている。(公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用)
	最近の小学校では図書館学習の一環で分類についても指導されており、子どもたちがもっと簡単に使いこなせるような分類方法になれば、さらに利用されるのではないか。(公共図書館：町村立、NDC新訂9版使用)
	自館で分類を精査することは人手の制約もあり難しい。今回の調査でNDC検索の利用者への紹介が不十分なことに気が付いたので、今後案内に盛り込みたい。(公共図書館：町村立、NDC新訂9版使用)
	学生向けオリエンテーションなどの際に分類について案内、解説している。(大学図書館：国立、NDC新訂10版使用)
	分類は実際に書架に行く人のためのツールであるように思う。自館独自のルールを定める際も、類似の主題が書架で隣接するようなルール設計を心掛けている。(大学図書館：私立、NDC新訂9版使用)
	OPACに分類記号からの再検索機能はついていないが、分類項目名の表示がなく利用者にとっては分かりづらい。分類項目名の表示がCiNiiの標準仕様になれば、OPACシステムの提供元のサービスとして、自館OPACでも分類項目名の表示が可能になるかもしれない。(大学図書館：私立、NDC新訂10版使用)
	分類がわかるものは利用者にはわかりにくいと感じる(保育関連の3と7など)。(大学図書館：私立、NDC新訂9版使用)
	分類は図書館になくてはならないものであるが、利用者側はOPAC検索時の配架場所程度の認識である。もっと分類の利点をアピールしていきたい。(大学図書館：私立、NDC新訂9版使用)
	利用者により分類別の所蔵の意味を理解させるのは難しい。現状は数字毎に棚が異なっているというレベルでの認識となっている。(大学図書館：私立、NDC新訂10版使用)
	NCデータにある分類からも検索できるが、検索の仕組みを知らないと利用できない。(大学図書館：私立、NDC新訂10版使用)
	分類で検索をする人は図書館員以外にはそんなにいない気がする。(公共図書館：市区立、独自分類使用)

	NDCは資料の整理、保存の上で欠かすことができないが、公立図書館の利用者にとって、どこまで浸透し、利活用がなされているのを知りたい。（公共図書館：町村立、独自分類使用）
	利用者の多くは分類記号を主題ではなく、資料のアドレス、置き場と認識している。その認識ならその上で、記号の体系を意識させていきたい。（大学図書館：私立、NLMC使用）
(分類や配架の工夫)	服飾、料理の配架で、NDC分類は使えないため、オリジナル分類を使用している。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	0類と5類の情報端末機器、ネットワークサービスについて分類が離れているため、自館で独自に工夫を行うべきか迷う。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	中央館以外の図書室はNDC10版を配架にも検索にも使用。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	PC関連書は類似主題が複数の類に分かれ利用しにくい面があるため、「PC関連本コーナー」として類をまたいだコーナー設置をしている。図書館を初めて利用する人にも目的の資料にたどり着きやすくするこうした工夫も必要。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	NDCそのままの分類では利用者にわかりにくいいため、趣味暮らし（料理、ガーデニング、旅行ガイドブック等）、仕事に役立つコーナー（資格、経営等）、コンピューター、ティーンズとして別置しているものが多い。（公共図書館：町村立、NDC新訂9版使用）
	専門性が高く蔵書の大半がNDC4類に該当するため、2桁目以降を分類記号に使用している。（大学図書館：国立、NDC新訂10版使用）
	新刊の受入数が少なく、既存の自館蔵書の分類に添う方法で分類記号を付けた方がわかりやすい。受入図書のジャンルが特定分野に偏る傾向もあり、学部教育に特化した学生が使いやすい本だけ並べるような配架について教員からの意見が出ることもある。（大学図書館：私立、NDC新訂9版使用）
	音楽大学の図書館なので、音楽分野を細かく分類している。楽譜は独自分類。（大学図書館：私立、NDC新訂9版使用）
	最新技術を扱う資料に図書館分類が追いついていなかったり、ビジネス関係など分類の曖昧なものもある。図書館職員は資料と利用者を会わせるために、より自館に合わせた分類に勤める必要がある。（高等専門学校図書館、NDC新訂8版（和書）、新訂9版（洋書）使用）
(NDCの版の切替)	NDCの新しい版が出ると、旧版による分類も新しい版に合わせて変更した方がよいのか悩む。（公共図書館：市区立、NDC新訂10版使用）
	過去のものとの整合性を取るのが難しいので、分類表の切り替えは困難。（大学図書館：国立、NDC新訂9版使用）
	NDC8版から10版に変更して間もないため、今後必要な作業を今回の調査結果を参考に検討したい。（大学図書館：公立、NDC新訂10版使用）
	2024年度より和図書の適用分類法をNDC7版から10版に変更。網羅的な遡及修正はせず、背ラベル色の変更と7版-10版対応表に基づく書架掲示により対応。（大学図書館：私立、NDC新訂7版（和書）、DDC（洋書）使用、同回答4館）
	分類法を変更した場合の他大学での対応を知りたい。全件変更か、部分変更か、その運用方法や利用者教育等について。（大学図書館：私立、NDC新訂6版使用）
	他館の新訂10版への切り替え率を知りたい。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	これから分類の版の切り替えを考えているので、今回の調査結果を参考にしたい。（大学図書館：私立、NDC新訂8版使用）
	NDC8、9版から10版への変更点の整合性をどのように取るかが未検討。10版への切替に伴う作業量が多い場合は、現状での運用を継続することになると思う。（大学図書館：私立、NDC新訂8版使用）
	NDC10版を2023年度春から適用したが、類似分類を振り分けるのが難しい。新しい言葉や技術が日々生まれており、次版の発行が比較的早いのではないかと懸念している。（大学図書館：私立、NDC新訂10版使用）
	旧版から新版への移行のタイミング、貼替用ラベルの経費が難点となっており、新版への切替に至っていない。（大学図書館：私立、NDC新訂8版使用）
	NDC8版からの移行について検討が必要と考えている。（短期大学図書館、NDC新訂8版使用）
(NDCの提供)	MetaBridgeでNDC10版の「用語一覧」と検索機能を公開してほしい。（公共図書館：都道府県立、NDC新訂10版使用、同回答2館）
	館内掲示用の分類表が欲しい。（公共図書館：町村立、NDC新訂10版使用）
	分類表の第四次区分以下の英語表記（日本語併記）を冊子やデータなどで提供してほしい。（大学図書館：国立、NDC新訂9版使用）
	NDCとDDCの比較表があるとよい。ネットで公開されている比較表「DDCからNDCへの記号変換」を分類付与で時々参考にしている。（大学図書館：国立、NDC新訂9版（和書）、DDC（洋書）使用）

	NDCがデータファイル化され、様々な分野での活用が期待されている。今まで積み上げてきたものを新しい時代に活かしていくことができれば新たな方向性も開けるのではないか。（大学図書館：私立，NDC新訂7版使用）
(NDCの改訂・補訂)	<p>新主題に対する分類が新訂版が出るまで反映されないのが、必要に応じて分類の追加をしてほしい。（公共図書館：市区立，NDC新訂10版使用）</p> <p>新主題に対する分類が統一されるようにしてほしい。（公共図書館：町村立，NDC新訂10版使用）</p> <p>新しい技術などに関する資料が刊行された場合にNDCでどの分類番号を使うか、分類委員会としての見解をいち早く公開してほしい。（大学図書館：私立，NDC新訂10版使用，同回答3館）</p> <p>参照されている分類について、どちらを採用するかの判断基準となる詳しい説明が欲しい。新しくできた言葉や類語など相関索引を充実してほしい。Webで公開して更新頻度を上げたり検索の利便性を高めたりしてほしい。（大学図書館：私立，NDC新訂10版使用）</p>
(NDCの体系・項目)	<p>絵本や紙芝居を体系的に分類できるようなルールがほしい（補助表でもよい）。（公共図書館：都道府県立，NDC新訂9版使用）</p> <p>829に韓国語を含め多くの言語が分類されているが、820/829を再編し、韓国語のように身近な言語は独立させた方がよい。（公共図書館：市区立，NDC新訂9版使用）</p> <p>桁数はあまり多くなくてもよいのではないか。（公共図書館：市区立，NDC新訂10版使用）</p> <p>インターネット・コンピュータ関連が統一された分類があるとよい。「子の名付け」の本を別法として599（育児）に分類できるようになるとよい。（公共図書館：市区立，NDC新訂10版使用）</p> <p>社会情勢が大きく変化しており、新主題も増加している現状では、主題同士の関連性がスムーズでない分野も見受けられる。時代に合った、抜本的な見直しが必要なのではないか。（公共図書館：市区立，NDC新訂9版使用）</p> <p>ITや情報科学関係など今後も発展が見込まれる分野は、第2区分など大きな区分に設定してもいいのではと思う。（公共図書館：町村立，NDC新訂10版使用）</p> <p>件名（項目名）の表現が一般にわかりづらいものが多い（総記，社会病理など）。内容的に近くても、分類が大きく離れるものがある（幼児教育と育児，著作権法と知的財産権と法律など）。（公共図書館：町村立，NDC新訂10版使用）</p> <p>分類項目が細分化され過ぎると、小規模館では使用しにくくなる。（公共図書館：町村立，NDC複数版使用）</p> <p>手話や点字を言語に分類するのは、利用者の利便性の点で戸惑う。（公共図書館：町村立，NDC新訂10版使用）</p> <p>知識体系の根幹をなす分類法が、今後より使い勝手のよいものになることを期待している。（大学図書館：公立，NDC新訂10版（和書），UDC（洋書）使用）</p> <p>物事が多様になり、十進分類では分類できないものも増えているように感じるが、今後新しい項目をどのようにしていくのか、または分類自体を大きく変えることがあるのか動向が気になっている。（大学図書館：私立，NDC新訂10版使用）</p> <p>検索用と配架用で同じ分類を使用しているため、医学分類の桁数を増やさないでほしい。看護学は成人看護と老年看護に分かれているが、医学では老年医学や慢性疾患などの分類は必要ないのか。（大学図書館：私立，NDC新訂10版使用）</p> <p>細かく分類を分けすぎないでほしい。過去の版と違いすぎる分類のつけ方はやめてほしい。（短期大学図書館，NDC新訂10版使用）</p>
(今回の分類調査)	<p>今回の分類調査で、分類の奥深さの一端を垣間見た。（公共図書館：市区立，NDC新訂9版使用）</p> <p>主題関係の情報がわかりづらかった。（公共図書館：市区立，NDC新訂9版使用）</p> <p>グーグルフォーム回答の場合は依頼メールに設問一覧を添付してほしい。（公共図書館：町村立，NDC新訂9版使用）</p> <p>絵本の分類についての設問も欲しかった。（公共図書館：町村立，NDC新訂10版（和書），NDLC（洋書）使用）</p> <p>NDC新訂10版を使用している、または使用予定のある館は多いのか。（公共図書館：町村立，NDC新訂9版使用）</p> <p>比較的蔵書数の多い図書館でNDC新訂10版への切替を実施した例があれば、事例紹介をしてほしい。（大学図書館：国立，NDC新訂9版使用）</p> <p>他大学の情報を知りたいので調査結果を参考にしたい。（大学図書館：私立，NDC新訂10版使用）</p> <p>設問C(2-1)の回答は10桁だが、Excel調査票にある選択肢「10 その他の桁数」が選択できなかった。（大学図書館：私立，NDC新訂9版使用）</p>
(独自分類)	<p>郷土図書に関しては県独自の分類があるので、そちらに従って分類している。（公共図書館：市区立，NDC新訂10版使用）</p> <p>一部独自分類を使用しているが、分類法とはいえない。（公共図書館：市区立，NDC新訂9版使用，同回答2館）</p>

---

NDCを用いて配架しない図書館が出てきて戸惑う。(公共図書館：町村立，NDC新訂10版使用)

大学の一学部の図書館ではその分野に特化した資料になるため、NDCの分類だけでは適した詳細な分類が付与できない場合がある。一学部の専門図書館ではNDC分類を原則としながらも、その図書館独自の分類を設ける必要があると感じる。(大学図書館：私立，NDC新訂10版使用)

---

データ処理・情報処理関連図書は独自の分類を行っている。(大学図書館：私立，NDC新訂9版使用)

---

音楽大学の付属図書館のため、音楽資料に特化した独自の分類法を使用。音楽以外の項目は非常にシンプルなため、NDC8版を併用し補っている。(大学図書館：私立，独自分類使用)

---

取り扱う資料の約95%が特定分野になるため、初期より独自分類法を適用。標準の分類法の知識も研鑽しながら、採用している独自分類の見直しも怠らないようにしていきたい。(大学図書館：私立，独自分類使用)

---

分類表の作成時(1972年)から利用しているので現在の分野に適合させるのが難しくなっているが、なかなか改定できないでいる。(その他(大学系)，独自分類使用)

---

NDC等既存の分類方法を適用していない。(公共図書館：町村立，分類不使用)

---

専門図書館なので既存の分類になじまない。(大学図書館：国立，分類不使用)

---

(その他) 東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響により休館しており、今後図書館機能を持つ複合施設を新たに整備する予定。(公共図書館：町村立，分類不使用)

---

特になし。(同回答公共図書館56館，大学図書館28館)

---

以上のほか、事務連絡を記載した図書館がある。